

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社レーサム 上場取引所 東
 コード番号 8890 URL <http://www.raysum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 片山 靖浩 TEL 03-5157-8881
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,052	△14.4	2,310	△22.3	1,964	△30.8	1,967	△29.9
28年3月期第2四半期	14,086	△11.5	2,975	△3.9	2,838	△9.3	2,805	△19.9

（注）包括利益 29年3月期第2四半期 1,945百万円（△30.7％） 28年3月期第2四半期 2,808百万円（△21.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	42.70	—
28年3月期第2四半期	60.89	60.77

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	53,923	36,357	67.4
28年3月期	54,005	35,548	65.6

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 36,356百万円 28年3月期 35,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,620	31.5	6,280	12.0	6,070	14.7	6,030	21.2	130.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	46,081,400株	28年3月期	46,081,400株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	33株	28年3月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	46,081,367株	28年3月期2Q	46,081,397株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成28年11月17日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,052百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益2,310百万円（同22.3%減）、経常利益1,964百万円（同30.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,967百万円（同29.9%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①資産運用事業

当事業では、富裕層のお客様の個々の資産内容を踏まえた不動産運用の仕組みと方法を考え抜き、実際に適合する収益不動産の商品化を進めます。取扱商品は、商業、オフィス、マンション、ホテル、医療施設等と多岐にわたり、価格帯も数億円から百数十億円まで幅広く提供します。

事業の中核は、対象物件を含む地域の特徴と将来の変化を見極め、その潜在能力を最大限に引き出すことにあり、最適テナントを誘致する力が問われます。

しかし、少子高齢化と人口減少に直面する日本社会において、お客様の期待と信頼に応えるには既存のテナントを誘致する力に限らず、社会変化に対応できるテナントを自ら創出しオペレーションを進化させ続けていく力が問われるようになって考えております。

このような問題意識のもと、中核事業から派生する新規事業として、世界の旅行者を対象にしたコミュニティホステル事業に注力しております。昨年12月にオープンしたエンブレムホステル西新井を皮切りに、この9月には鎌倉、11月、12月と京都で2件を立ち上げ、来年には浅草、博多、蒲田と展開してまいります。また、高度医療分野では専門手術に優れた医師がより多くの患者の診察機会に臨み診療に集中できる専門クリニックが9月に竣工しました。昨年来、このような新しい取組みに挑戦する10億円を超える案件が増えてきており、当連結会計年度も同様の状態が続いております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は9,991百万円（前年同四半期比19.4%減）、セグメント利益は1,871百万円（同31.9%減）となりました。

②プロパティマネジメント事業

当事業では、当社から収益不動産を購入され保有されるお客様の不動産保有目的を実現させるため、様々な用途の不動産の最有効活用を追求し、最適なテナントの誘致や各種調整を図り、きめ細かい建物賃貸・管理サービスを行っております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は1,101百万円（前年同四半期比25.4%増）、セグメント利益は495百万円（同48.2%増）となりました。

③サービシング事業

当事業は、主に連結子会社であるグローバル債権回収株式会社が、銀行等の金融機関から、主に自己勘定にて債権を購入し、これらの債権の管理回収等の業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は578百万円（前年同四半期比20.5%増）、セグメント利益は146百万円（同3.8%増）となりました。

既存保有の買取債権の丁寧な回収活動並びに新たな債権取得は着実に進捗しております。

④その他の事業

当事業においては、主に連結子会社である株式会社アセット・ホールディングスが保有するゴルフ場の「レーサム ゴルフ&スパ リゾート」を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は381百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益は24百万円（同17.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,081百万円減少し、48,544百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が1,216百万円増加して13,514百万円となり、仕掛販売用不動産が1,078百万円増加して10,676百万円、買取債権が909百万円増加して4,597百万円となった一方で、販売用不動産が4,565百万円減少して15,627百万円となったことによるものであります。

現金及び預金の主な変動要因は、販売用不動産の販売による10,040百万円の増加と仕入による2,563百万円の減少、仕掛販売用不動産の開発進展に伴う工事代金並びに販売用不動産の改修工事代金の支払いによる1,674百万円の減少、新規の資金調達と借入金の返済による差額で820百万円の減少、サービシング事業での回収による555百万円の増加と新規の債権取得による1,256百万円の減少、配当金の支払による1,010百万円の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて999百万円増加し、5,378百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて81百万円減少し、53,923百万円となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて891百万円減少し、17,566百万円となりました。これは主に新規の資金調達と借入金の返済による差額で借入金が820百万円減少した結果であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて809百万円増加し、36,357百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が1,967百万円増加した一方、配当金の支払を行ったことが主な要因であります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて1,441百万円増加し、13,414百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な変動要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、4,096百万円の増加となりました。主な増加要因は、資産運用事業における売上高9,991百万円とサービシング事業における債権回収高578百万円に係る資金増加であり、主な減少要因は、資産運用事業における販売用不動産の仕入の支払額2,563百万円と仕掛販売用不動産の開発進展並びに販売用不動産の改修工事代金の支払による1,674百万円の減少、サービシング事業における新規の債権取得に係る1,256百万円の支出、及び販売費及び一般管理費の支出に係る資金減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、654百万円の減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産・無形固定資産の取得に係る支出192百万円、関係会社株式の取得による支出667百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1,929百万円の減少となりました。これは、長期借入金3,100百万円と社債800百万円を同額のリファイナンスをしたことによる増減以外での新規の借入額1,205百万円による増加と有利子負債の返済額2,024百万円による減少、連結の範囲の変更を伴わないその他の関係会社有価証券の取得による支出100百万円による減少、及び配当金の支払いによる1,010百万円の減少などの結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,298	13,514
営業未収入金	220	261
営業投資有価証券	236	182
販売用不動産	20,192	15,627
仕掛販売用不動産	9,597	10,676
買取債権	3,688	4,597
前渡金	698	637
繰延税金資産	2,785	2,789
未収還付法人税等	24	7
その他	550	915
貸倒引当金	△666	△664
流動資産合計	49,626	48,544
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	615	578
土地	656	656
その他（純額）	142	187
有形固定資産合計	1,414	1,422
無形固定資産		
その他	309	389
無形固定資産合計	309	389
投資その他の資産		
投資有価証券	1,786	2,710
繰延税金資産	263	264
出資金	10	10
その他	594	581
投資その他の資産合計	2,654	3,567
固定資産合計	4,379	5,378
資産合計	54,005	53,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	592	559
未払法人税等	5	13
前受金	143	125
賞与引当金	11	13
その他	1,147	1,271
流動負債合計	2,200	2,282
固定負債		
社債	800	800
長期借入金	12,961	12,174
流動化調整引当金	14	4
資産除去債務	4	4
預り敷金	2,476	2,299
固定負債合計	16,256	15,283
負債合計	18,457	17,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,253	12,253
利益剰余金	22,867	23,821
自己株式	△0	△0
株主資本合計	35,220	36,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	119
為替換算調整勘定	51	63
その他の包括利益累計額合計	206	182
新株予約権	22	—
非支配株主持分	99	0
純資産合計	35,548	36,357
負債純資産合計	54,005	53,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,086	12,052
売上原価	9,669	8,342
売上総利益	4,417	3,709
販売費及び一般管理費	1,442	1,399
営業利益	2,975	2,310
営業外収益		
受取利息	6	7
その他	0	4
営業外収益合計	7	12
営業外費用		
支払利息	61	55
財務手数料	8	24
為替差損	74	275
その他	0	3
営業外費用合計	144	357
経常利益	2,838	1,964
特別利益		
新株予約権戻入益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除売却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	2,834	1,987
法人税、住民税及び事業税	11	10
法人税等調整額	17	7
法人税等合計	29	17
四半期純利益	2,805	1,969
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,805	1,967

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,805	1,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△35
為替換算調整勘定	△1	11
その他の包括利益合計	3	△23
四半期包括利益	2,808	1,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,809	1,943
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,834	1,987
減価償却費	62	71
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31	△2
流動化調整引当金の増減額 (△は減少)	73	△9
受取利息及び受取配当金	△6	△7
新株予約権戻入益	—	△22
支払利息	61	55
固定資産除売却損益 (△は益)	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△207	△40
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	68	—
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,671	4,544
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	214	△1,135
買取債権の増減額 (△は増加)	142	△909
前渡金の増減額 (△は増加)	△79	△22
前受金の増減額 (△は減少)	100	△20
未払金の増減額 (△は減少)	△38	△110
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58	419
預り敷金の増減額 (△は減少)	△14	△162
匿名組合出資金の増減額 (△は増加)	△246	△257
その他	△13	△241
小計	4,537	4,137
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△61	△55
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△74	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,403	4,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△484	△0
定期預金の払戻による収入	—	206
有形固定資産の取得による支出	△51	△79
有形固定資産の売却による収入	9	—
無形固定資産の取得による支出	—	△113
関係会社株式の取得による支出	—	△667
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△528	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,110	4,305
長期借入金の返済による支出	△4,436	△5,124
社債の発行による収入	—	800
社債の償還による支出	—	△800
連結の範囲の変更を伴わないその他の関係会社 有価証券の取得による支出	—	△100
配当金の支払額	△826	△1,010
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,152	△1,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△306	1,441
現金及び現金同等物の期首残高	11,449	11,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,143	13,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	サービシング 事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,392	878	479	335	14,086	—	14,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	307	11	318	△318	—
計	12,392	878	786	347	14,405	△318	14,086
セグメント利益	2,749	334	140	20	3,245	△270	2,975

(注) セグメント利益の調整額△270百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△237百万円及びセグメント間取引消去△32百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額2,975百万円と一致しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	サービシング 事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	9,991	1,101	578	381	12,052	—	12,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	10	10	△10	—
計	9,991	1,101	578	392	12,063	△10	12,052
セグメント利益	1,871	495	146	24	2,537	△226	2,310

(注) セグメント利益の調整額△226百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△226百万円及びセグメント間取引消去△10百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額2,310百万円と一致しております。